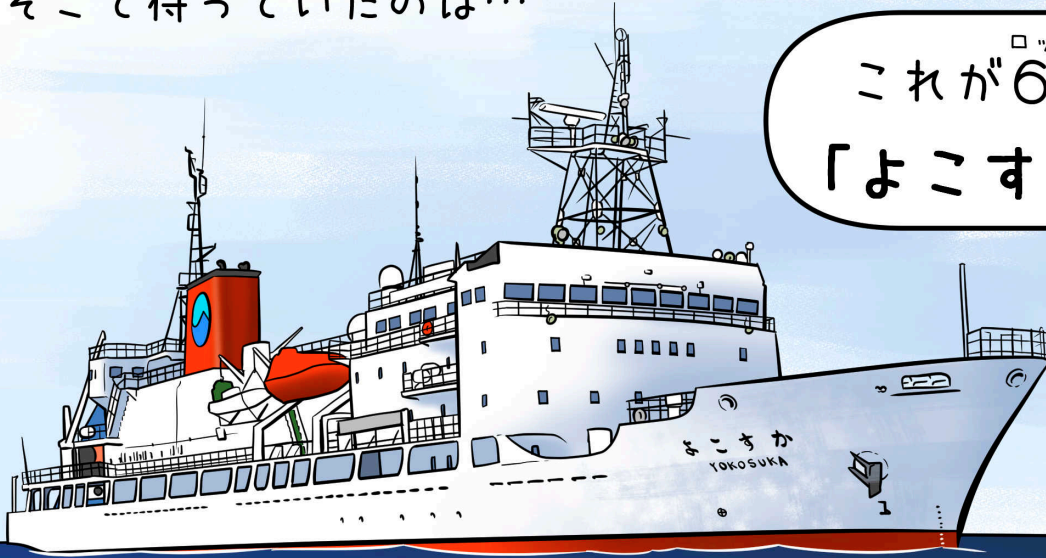


かいめん ふじょう
海面に浮上した「しんかい6500」

そこで待っていたのは…



ロッケー ぼせん
これが6Kの母船ッ
「よこすか」なのだ!

「よこすか」

ぜんちよう
全長 : 105.2m メートル
そう ずう
総トン数 : 4,439トン
はや
速さ : 16ノット
ていじん
定員 : 60名 (乗組員45名 / 研究者15名)



「よこすか」には ロッケー かくのうこ じゅうでんそうち
バラスト格納室など 専用設備がぎっしりなのだ

かたち おお
形や大きさは「かきれい」とよく似ているな
ロッケー せんこうちゅう なに
6Kが潜航中は何をしていたんだ?



「かきれい」は おうちしんかい#5 でしょうかいしているよ

「よこすか」の役わり

① ロcketを目的地まで運ぶ

② ロcketを充電する

④ ロcketを吊り上げて海へ入れる

③ ロcketにバラストを搭載する

格納庫の下にはバラストの部屋がある
リフトを使って重いバラストをロcketに取りつける

いってきます！

⑤ 潜航中のロcketと音を使って連絡をとる

- 測位装置 … 距離と向きを測ってロcketの現在地を知る
- 画像伝送装置 … 音で送られてきた写真を受け取る
- 水中通話機 … 水中でお互いの声を送る

ロcketからの連絡

「千ムニーを発見した」

「よこすか」からの返事

その地点で
生物を観察せよ

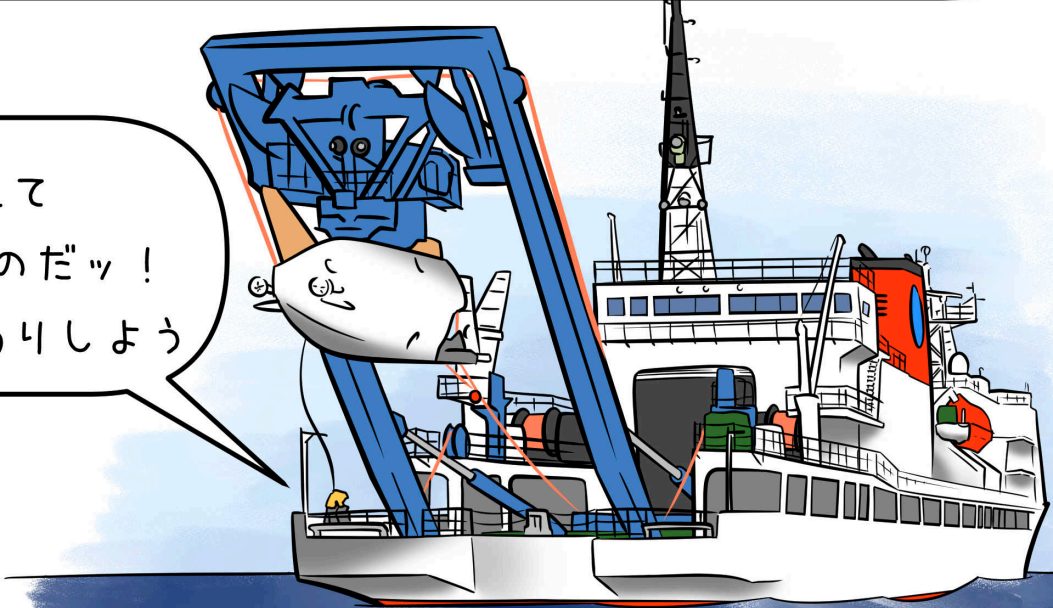
そして⑥番目の役わりは、


「ロcketの帰る場所」であること



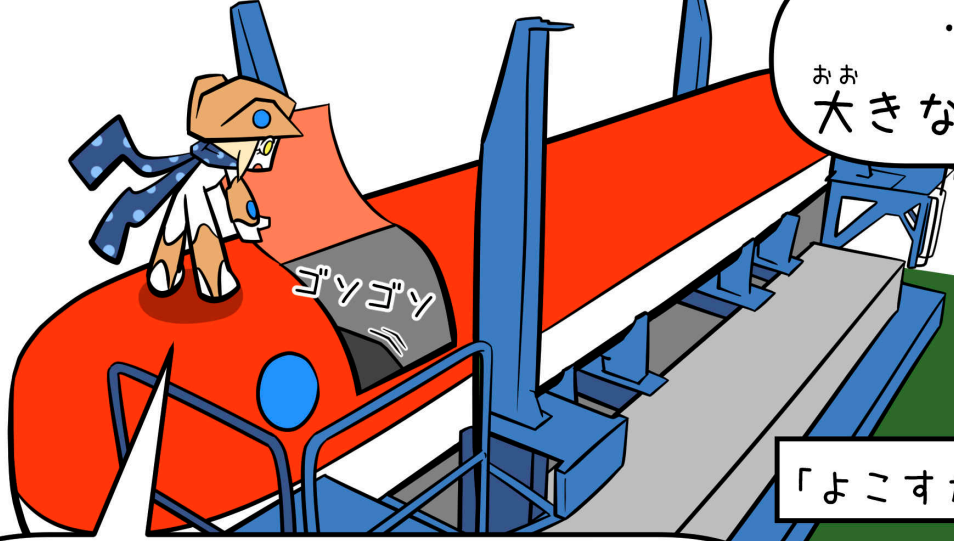
 ^{しんかいちょうさ} 深海調査は ^{かえ} 「帰ってくる」 ことも ^{だいじ} 大事だもんね
^{なんど} 何度も ^{ちょうせん} 挑戦して ^{うみ} もっと ^し 海のことを知りたいな！

^{ロケット} ロケット ^{つぎ} つぎ ^{そな} そな
6Kは次に備えて
^{じゅうでん} 充電 ^{ひつよう} が必要なのだッ！
^{かくのうこ} 格納庫 ^{さき} へ先まわりしよう



 それにしても ^{おと} 音 ^{つか} を使って
いろいろなことが ^{できる} できるんだな

まっくらな ^{しんかい} 深海では ^{おと} 音が ^{べんり} とっても便利！
^{かいてい} 海底 ^{ちず} の地図 だって ^{おと} 音 ^{つか} を ^{つく} 使って ^{作る} 作るんだよ



…わッ見て！
^{おお} 大きな ^{たんさき} 探査機 ^{がある} がある！



「よこすか」 ^{かくのうこ} 格納庫

フフ、ちょうど ^よ 良いのだ
たぶんここに… おい、^{かえ} 帰ったぞ

おうちしんかい
#17へつづく…